

新編武藏國風土記稿

入間郡

卷之二百六十八

和書門類			
一六五〇	二二三	二五五	二五五
號	函	架	冊

內閣文庫			
一六五〇	二二三	二五五	二五五
號	冊	架	函
和書			

內閣文庫	
番號	和 16510
冊數	255 (167)
函號	173 210



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

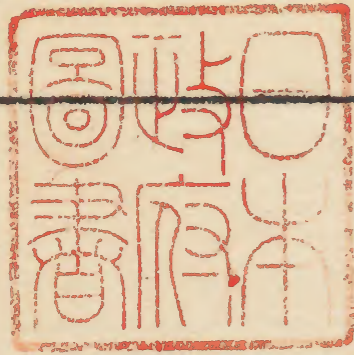
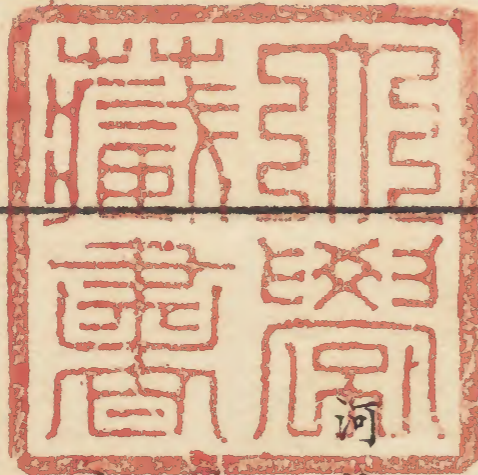


© Kodak, 2007 TM: Kodak



新編武藏風土記卷之一百六十八目錄

入間郡之十三



河越領

谷中村

菅間村

石田村

寺井宿

寺井松脚

寺井伊佐沼

淺草文庫

府川村

高畑村

網代村

志岳村

宿粒村

東明寺村

小久保村

向小久保村

今成村

小室村

小久谷村

新編武藏風土記卷之一百六十八

入間郡之十三

河越領

谷^ヤ中^{ナカ}村

谷中村ハ。河越ノ北ニ當リ江戸ヨリ行程十里。山田庄ニ屬ス。郷名ハ失ヘリ。北條役帳ニ富永弥四郎ガ知行二十五貫文河越谷中十載ス。永禄ノ頃ハ既ニ開ケシ了知ベシ。四境ノ大槓東ハ石田本郷ニ隣リ。南ハ北田島村及河越ノ町郷分ニ接シ。西ハ石田村。

北ハ菅間村ナリ。東西三町。南北五町ニ餘レリ。民戸
 二十七。水田多ク陸田ハ僅ナリ。用水ハ入間川ノ水
 シ下寺山村ニテ堰入レ引来リテ沃ゲリ。村ノ中程
 ニ一條ノ道アリ。河越ヨリ中山道鴻巣病へ出ル道
 ニテ南ノ方町郷分ヨリ入北ノ方菅間村ニ通ス。此
 村河越ト僅ニ十八町ヲ隔タレバ 御入國ノ後。城
 主酒井河内守重忠或ハ雅樂頭忠世等ニ賜リシ十
 ルベケレド土人ハ傳へズ。寛永十六年松平伊豆守
 信綱河越へ遷リシトキ當村ソノ領地トナリ。慶安
 四年同人檢地セリ。夫ヨリ以来河越ノ城付ト成リ

タレバ領主ノ遷替ハ城主ト同ジ。

高札場 村ノ中央ニアリ。

小名

高町

道上町

道下町

村前町

森下町

小屋町

神明社 二字 一ハ村内正圓寺持。一ハ農民ノ持ナリ。

稻荷社 農民持。

正圓寺 天台宗。仙波中院ノ門徒。清水山多門院ト

号ス。本尊正觀音ヲ安ス。

毘沙門堂 境内ニアリトイヘドモ除地免田別

ニ此堂ニ附ス。

阿彌陀堂

菅間^{スガ}村

菅間村ハ河越ヨリ良ノ方三十町ヲ隔ツ。江戸ヨリ
行程十二里。山田庄ト唱ヘ三芳野ノ里トモ云フ。民
家百十。村ノ四境。東ハ石田本郷ニ隣リ。南ハ谷中石
田府川ノ三村ニ交リ。西モ府川高畑ノ二村ニ犬牙
シ。北ハ入間川ノ中央ヲ限リ比企郡釘無村ナリ。東
西十一町ニ過ズ。南北九町ニ餘レリ。水田多ク陸田
少シ。用水ハ前村ト同ジク入間川ノ水ヲ沃ゲリ。村
ノ東ノ方ニ比企郡ノ村々ヨリ河越ヘノ小道カ、

レリ。入間川ノ渡ヨリ村内ニ入テ谷中村ニ通ズ。慶
安元年時ノ領主松平伊豆守信綱檢地ス。領主ノ遷
替ハ前村ト同ジ。

高札場 村ノ東ニアリ。

小名

上管間

白馬

下管間

長沼

森寄

石神

カニ新田

高縄

十カサク

油免

入間川

村ノ北ニアリ。西ノ方高畑村ヨリ比企郡

ノ郡境ヲ流レ同郡河口村へ入ル。川幅五十間。川
ニ添テ堤アリ。入間川堤ト呼フ。此川昔ハ爰ヨリ
石田本郷へ入り。夫ヨリ下流古谷上郷迄今ノ流
レヨリ少シ南ノ方へヨリテ流レ。此邊皆入間川
ヲ郡境ト定メシガ。年々水溢ノ患絶ストテ農民
等愁訴ニ及ヒシカバ。延宝八年伊豆守信綱其家
人等ニ命シテ今ノ如ク當村ヨリ比企郡ノ内へ
新川ヲ掘リ水路ヲ替シヨリ。石田本郷へ流ル。
モノハ古川ト呼ビ。本郷ヨリ鴨田村迄此古川ヲ
郡界トセリ。按ニ延宝ノ頃信綱カ掘シト云ハ時

代相違セリ。信綱カ没セシハ寛文二年ナリ。延宝
ニ水路ヲ変セシナレバ信綱ガ孫伊豆守信輝ガ
時ニアツレリ。此川中比企郡ヘノ舩渡アリ。

神明社 村内観音寺持。

稻荷社 同寺ノ持。

観音寺 天台宗。仙波中院ノ門徒。正法山ト号ス。本

尊観音ヲ安ス。

辨財天社

圓光寺 是モ中院ノ門徒。山号ナシ。開山ハ傳ヘサ

レド。境内ニ権大僧都豪園寛文五年十一月廿一

日ト彫タル碑アリ。是モ歴代ノ内ナリト云ヘバ
是ヨリ先キ開ケシ寺ナルベシ。本尊大日ヲ安ス。

観音堂 子子観音ヲ安セリ。観音寺持。

弥陀堂ニ宇 共ニ観音寺持。

舊家者甚ハ 竹谷ヲ氏トス。家系ハ傳ヘサレド。先

祖ヲ竹谷源七郎或ハ勘解由トモ呼テ北条分國

ノ頃ハ府川村ニテ五貫文ノ地ヲ大野縫殿助ト

西人ニテ領シ。其村ノ小代官ヲ勤メシ者ナリ。其

時ノ書出及ヒ文書總テ三通ヲ藏ス。ソノ文全ク

府川村ニ係ル物ナレバ其村ノ条ニ載タリ。

褒善者織右衛門。村ノ名主ナリ。母ニ事ル丁厚ク。
且廉直ニシテ其職ニ怠ラサリシカバ天明八年
領主大和守ヨリ賞トシテ青銅一貫文ヲ与ヘシ
ト云。

石田村

石田村ハ。河越ヨリ北ノ方十八丁ヲ隔ツ。江戸ヨリ
行程十里。山田庄ト唱ヘ。或ハ宇田郷庄内領トモ傳
ヘタレド。此唱ハ當村ノモ傳ヘテ他村ニ聞ヘサレ
バ覺束ナシ。村ノ四境東ハ谷中村ニ隣リ。南ハ河越
ノ町郷分。東明寺寺井三ヶ村ノ村々ニ涉リ。西ハ府
川向小久保ノニ。村ニテ北ハ菅間村ナリ。東西五丁。
南北八丁許。民戸五十余。又北ノ方石田本郷ト谷中
村ノ間ニ五ノ神ト云村ノ飛地ナリ。田數十一丁許

ノ地ナリ。當村モ水田多ク陸田少シ。用水ハ谷中村
ト同ク下寺山村ヨリ引テ水田ヲ耕ス。永禄ノ頃ハ
永九拾四貫文ノ地ヲ富島某カ領セシコト北条役
帳ニ見エタリ。御入國ノ後ハ領主及ヒ檢地ノ年代
前村ニ同シ。

高札場 東ノ方ニアリ。
小名
カヤノシ
ヤハラ
捨石橋
キソノ
嶋間
ハツ嵩
セイゾウ

藤宮社 祭神詳ナラス。神躰ハ秘シテ人ノ見ル
ヲ許サズ。本地佛弥勒院薬師ノ二軀ヲ安ス。當村及
ビ石田本郷菅間谷中ノ村々古ヘハ府川村ノ八
幡社ヲ鎮主トセシガ。何ノ頃ニヤ當社ヲ勧請シ
テ今ハ此四村ノ鎮守トセリ。村内大正寺持。
末社 辨天社 天王社
神明社 前ト同シ持。
大正寺 天台宗仙波中院ノ門徒ナリ。光明山遍照
院ト号ス。本尊阿弥陀ヲ安セリ。

薬師堂

大日堂
地藏堂
以上二字大正寺持。

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

寺井宿

寺井松郷

寺井伊佐沼

寺井宿。寺井松郷。寺井伊佐沼ハ。今ハ全ク三村ニ分
テドモ。古ハ寺居ト書ス。總テ東明寺持ノ地ナリシ
ニ。此寺衰ヘテ後何ノ頃カ三村ニ分タレシカドモ。
元一村ナレバ田地入會テ境界分レズト土人云ヘ
リ。故ニ姑ク三村ヲ合セテ云ニ。河越ノ城下町下町
橋ノ方ニ續キタル村ニテ。所ノ高札ヨリハ僅ニ七
丁許ヲ距リ。江戸ヨリハ行程十二里餘。山田庄ニ属

セリ。東西六丁許。南北へ三丁程。四境ハ東方北田島
村ニ隣リ。南ハ河越城下町。西ハ小久保小ヶ谷上寺山
ノ三村。北ハ石田府川向小久保谷中ノ村々ナリ。水
田多ク。陸田少シ。用水ハ赤間入間ノ二水ヲ引用ス。
民戸百餘ノ内物高ノ家ハ城下町ヨリ左折スル道
ノ左右ニアリ。此間六丁餘比企郡松山所へ達スル
道ナリ。又城下町ノ内下町橋ヲ出テ右ノ方へ折又
レハ鴻巣桶川へノ街道ニテ向小久保村ニ至ル。人
家此ニ條ノ左右ニ並ベリ。此村開發ノ初ハ詳ニセ
ザレド。天文ノ頃島津長徳軒松井伊佐沼寺井伊佐

沼ノ地ヲ領セシ由物ニ見エタレバ。是ヨリ前開ケ
シ村ナルベク。其後永禄中改定ノ北条役帳ニ二百
十三貫三百三十一文。寺井外檢地。山中内匠助ト
アリ。此寺井ハ今ノ寺井三ヶ村ノ内ナルベシ。檢地
及領主ノ遷替前村ニ同ジ。此外寺井宿分ノ持ニ属
セル武藏野開三丁余郡内中臺村ニアリ。又同所ニ
寺井伊佐沼ニ属セル武藏野開三丁余アリ。コノ二
ヶ所ハ寛文元年ニ檢地アリ。其餘寺井宿寺井伊佐
沼分ノ武藏野開共ニ中臺村ニアリテ延宝元禄ノ
間ニ才ヒク檢地セシト云。

高札場 城下町下町橋ノ方へ入所ニアリ。寺井三

ヶ村東明寺村町郷分スベテ五ヶ所ノ高札ナリ。

小名

柳橋

境ミソ

山伏町

宿理

赤間川

入間川

天神社 寺井伊佐沼分ノ内ニアリ。城内高松院ノ

持。

永林寺 寺井松郷分ニアリ。禪宗洞岫近江國栗太

郡浮氣村源昌寺ノ末。興雲山ト号ス。開山卷岑文

舒。寛永十七年九月廿六日示寂。開基ハ玉室榮琳

大師慶長五年八月六日卒。酒井備後守忠利ノ伯

母ナリ。サレド其實ハ慶安三年五月三日ニ寂セ

シ。當寺ノ二世嶺室文雪カ草創ニテ。已ハ其任ニ

當ラズ。彼卷岑文舒ヲ勸請シテ開山トセシト寺

僧ハ傳ヘリ。本尊釋迦ヲ安セリ。寛永十一年酒井

讚岐守忠勝家臣ヨリノ旧記今當寺ニ残レリ。

天照太神

合殿社

秋葉社

稻荷社

茅六天

白山権現

以上三社ハ慶安三年ノ勸請ナリ。

真行寺 寺井宿ノ内ナリ。至誠山成就院ト号ス。一
向宗京東本願寺末。開基真行尼ハ武田信玄ノ妹
ナリ。武田勝頼没落ノ後若山某岩崎某ノ二人ニ
懷抱セラレテ郡内上吉田村ニ姑ク住ニ。夫ヨリ
城下町ノ内改ノト云処ニ移リ。夫ヨリ今ノ所ヘ
来リ一寺ヲ建立シ己カ名ヲモテ寺号トセシ由。
卒年ハ傳ヘズ。按ニ真行尼ハ武田信玄ノ女子ナ
リト物ニハ見エタレド。寺傳ニハ妹ナリト云。何
ヲ實トモ今ヨリ断ズヘカラザレバ姑ク寺傳ニ

從フ。彼若山岩崎ノ子孫今横見郡荒子村ニ殘レ
リト云。當寺第二世ハ武田勝頼カ妾服ノ男子ナ
リシト傳ルノミニテ。是モ卒年ハ傳ヘズ。第三世
正因ハ正保二年六月晦日ニ寂セシ由。其後八世
ノ住僧故有テ退院セシ時總テ旧記ヲ失ヘリ。本
尊称陀ノ立像長二尺春日ノ作ナリ。

太子堂 太子十六歳ノ御時ノ御形ヲ寫セシモ
ノニテ立像長四尺許。御頭許ハ御自作ナリト
云。

府川^カ村

府川村ハ。河越ヨリ十八丁北ニ當リテ江戸ヲ距ル
コト十二里。山田庄ニ屬シ。三芳野里ト号ス。天正五
年領主北条氏當所へ出セシ檢地ノ文書アリ。今菅
間村ノ農民甚ハカ家ニ藏ムレド。當村ノ租税ノ了
見ユレバ丸ニ出ス。

府川郷田檢地文書

一拾五町五段十步

田敷

分儀七拾貳貫二百廿九文

一貳拾四町貳段十步

田敷

分儀四拾貳貫廿七文

分儀拾貳貫貳百廿二文

分儀七拾貳貫二百廿二文

以上百拾貳貫七百六文

以內

貳貫文

拾貳貫文

貳貫文

三貫文

貳貫文

以上貳拾貳貫文

林田

井料

代官給

官使給

官使給

引物

残り

九拾貳員七百六文

定納

け取集

口拾六員三百六十二文

け取

拾七員貳百四十二文

本迄員

口拾員百七十一文 増分

け外立員増分口竹堂野五人取取下

口四拾員二百六十二文

右四拾員二百六十二文毎箇員取納申付

上海より也の申付

天正六年丁巳

六月廿六日

江戸

竹首

大野

吾所入之約多矣

吾之昔月之

吾之為在是也

吾之接之也

唐版

七月十日 德和

也

竹首

有川令一陽年

未致隱田処付友
祈中名名逐捨魂
処毒人上上象明
鏡也抱名毒人代

友藏と作有公并
由能市隱田上上
由也應最善とと度
境分是納共九費
角六費又毒人

永新平公程中

極子也書對也別

紙之有後來也

以清速之走廻友

新原也也仍如

件

天正五年丁巳

五月廿六日

尾

竹管通書

右長續

是等ニヨレハ其頃畝數ニ大半小ノ唱ヲ用ヒ。永樂
錢ヲ以テ貢數ヲ定メシ見ユ。土人ノ傳ヘニ志垂
宿粒石田同本郷谷中細代ノ六村ハ總テ昔府川郷
ト呼ビ。其頃爰ヲ上府川或ハ府川本郷ト唱ヘタリ
ト。此說他ニ所見ナシ。偶文書ニ府川郷ト書セシヲ
モテカ、ル說ヲ云倣ハセルニヤ。サレド村ト云ベ
キヲ郷ト書シハ爰ニモ限ラズ。又北条役帳ヲ閱ス
ルニ宿粒石田谷中ノ村名見エタレバ此說信ズル
ニ足サレド。姑ク土人ノ傳ノ終ヲ記セリ。四境東ハ
石田村ニ界ト。南ハ石田向小久保ノ二村ニテ。西ハ

志垂宿粒福田ノ三村ニ交リ。北ハ高畑村ナリ。東西
三丁。南北十四丁。帯ノ如ク長キ村ナリ。水田多ク陸
田少シ。用水ハ此邊ノ村々ト共ニ下寺山村ヨリ分
水セリ。御入國ノ後酒井雅樂頭忠世ニ賜リシガ。
程ナク上リテ酒井讚岐守忠勝カ領地トナリ。是モ
若狭國ヘ移リ。寛永十二年堀田加賀守正盛ニ賜リ
シガ。同十五年領地ヲカヘラレ。翌十六年松平伊豆
守信綱ニ賜リテヨリ子孫三代ノ領分ナリ。夫ヨリ
元禄ノ頃松平美濃守吉保カ食邑トナリシニ。夫モ
宝永元年ニ替リテ秋元但馬守喬朝ヨリ子孫但馬

守涼朝迄四代相續之。明和ノ頃松平大和守直矩ニ
賜リテヨリ今ニ其家ノ領地ナリ。檢地ハ慶長十一
年天羽内通助箕嶋長九衛門糾セシヨリ數度改メ
テ。寛永八年酒井讚岐守。慶安元年伊豆守信綱。延
寶三年伊豆守信輝改メリト云。
高札場 村ノ中ニアリ。

小名

押原

馬屋方

新田

八幡社 祭神ハ譽田別命ナリ。神躰ハ束帶銅像長
一寸。鎮坐ノ年代詳ナラズ。社傳ニ康永三年再興

アリニ由テ云。又土人ノ説ニ昔ハイト全盛ナリ
社ニミテ近郷志垂宿粒細代谷中石田同本郷菅
間向小久保以企郡角泉當村總テ十村ノ鎮守ナ
リニカ。中古各村ニ鎮守ヲ勸請セシヨリ今ハ唯
當村ト志垂村ノ二村鎮守トセリト云。又前ニ出
セル天正五年ノ文書ニ神田二貫文ト載タリ。其
頃社領モ有ニテ知ルベシ。

末社 天神社 稻荷社

神職原撰津 吉田家ノ配下ナリ。

第六天社

神明社 以上二社村内ノ修驗吉祥院持。
白山社 神職原撰津持。

光明寺 天台宗仙波中院門徒。世界山遍照院ト号
入。滅罪ヲ事トセズ。今住僧ナケレバ開山ノ事蹟
ヲ尋ヌルニ由ナシ。按ニ是則後ニ出セル八幡ノ
本地堂光明寺ノ古蹟ナルベシ。モニ然ラバ開山
ハ覺田坊ニシテ其起立セシハ康永三年ナルベ
シ。本尊ハ弥陀ナリ。

弥陀堂 光明寺持。弥陀ノ画像ニ幅ヲ安ス。其一ハ
源満仲ノ筆ニテ立像一尺四寸。一ハ惠心僧都ノ

畫キニ物ニテ一尺六寸三分ノ立像ナリト云。何
レモ秘ニテ見ルヲ許サズ。大永七年丁亥二月
小澤藤右衛門維宗ト云ル者ノ書ニ縁記アリ。今
子孫萬右衛門藏ス。其略ニ此畫像ハ維宗ノ祖維
延ト云シ者へ相模守時頼ノ子ヘシ所ニテ。村内
八幡社再興ノ時覺田坊ト云ル者新夕ニ本地堂
ヲ建立ニテ光明寺ト名付。其後又田智坊ト云僧
今ノ堂宇ヲ建立ニテ爰ニ移セシ由ヲ載タレド
紙性墨色後人ノ書寫セシモノト見ユ。
舊家者萬右衛門 氏ヲ小澤ト云。代々此所ノ名主

ナリ。先祖ハ小澤圖書ト云ヘリ。家系モ傳ヘタレ
ド。萬右衛門カ子足立邸新井村ニ移リシトキ持
行タレバ爰ニハ辨シカタシ。唯北条家ヨリ先祖
圖書ヘ子ヘシ文書一通ヲ藏ス。其文九ノ如シ。

刀幸右衛門法末子
人足立人如持
より板中取表付

飛く恒長三郎
中州

介
甲子

村川那波島書

万叶集

是ニ拠リテモ舊家ナリ知ベシ。

高畑村

高畑村ハ。府川村ノ北ニ續キ。則同村ノ持添ニテ民
家ハナシ。サレド新田ニ非ズシテ昔ヨリノ村ナリ。
東ハ菅間村及ビ入間川ノ中央ヲ界ヒ比企郡釘無
村ニテ。南ハ府川村。西ハ福田宿粒ノ二村ニ接シ。北
モ入間川ヲ限リテ比企郡角泉釘無ノ二村ナリ。當
村ハ北ヨリ東へ屈曲シテ入間川ニ望ノル所ナレ
バ勤モスレバ水溢ノ患アリ。東西七八町。南北へ十
丁許リ。水田多ク陸田少シ。用水ハ入間川ノ水ヲ引

水田ニ灌ゲリ。領主ノ遷替檢地ノ年代大抵府川村
ニ同ジ。

小名

ミノ和町

宮田町

入前町

入間川 村ノ北ヨリ東へ屈曲シテ郡塚ヲ流ル。福
田村ヨリ入菅間村ニ達ス。川中五六十間アレド
常ノ水中ハ僅十間許ナリ。

入間川堤 川ニ添ヒテアリ。松平伊豆守信細カ初
テ築ク所ナリ。福田村ヨリ菅間村ニ續ケリ。今モ
領主ノ修理ヲ加フル所ナリ。

細代村

細代村ハ。河越城ノ乾ニ當リ十一丁許ヲ隔テリ。江
戸ヨリ行程十里余。山田庄ニ屬シ三芳野里ト号ス。
又古コノ邊ヲスベテ庄内ト呼レト云。東西五丁南
北四十三間。東南ハ宿粒村ニ隣リ。西北ハ下寺山村
ニ交レリ。水田多ク陸田少クシテ水旱ノ患ナシ。村
内ニ一條ノ往來アリ。宿粒村ヨリ入下寺山村ニ至
ル。松山へノ道ナリ。慶安元年明暦二年ノ二度松平
伊豆守檢地セリ。領主ノ變遷前ニ同ジ。

高札場 村ノ中程ニアリ。

小名

小三田町

ワタギ

トウギ

六段田

細田

島ノ免

山王社 村ノ鎮守ナリ。

別當教學院 本山修験ナリ。山王山ト号ス。

志^シ岳^{ダケ}村

志岳村ハ。河越ノ北ニ當リ十四丁ヲ隔ツ。江戸ヘノ
行程十二里ニ餘レリ。山田庄ニ屬シ三芳野里ト云。
東ハ府川村ニ隣リ。南ハ向小久保宿粒ノ二村ニ錯
リ。西ヨリ北ニ至リテ八宿粒村ナリ。東西四丁余。南
北五丁余。民戸二十七。水田多ク陸田少シ。用水ハ上
寺山村ニテ入間川ヲ堰入レ引来リ。或ハ宿粒村ノ
池ヨリモ引テ沃ケリ。水旱共ニ患ナシ。村内西ノ方
ニ河越ヨリ比企郡松山ヘ通フ道アリ。南ノ方宿粒

村ヨリ入テ又北ノ方同村ニ通ズ。領主及檢地ノ年
代前ニ同ジ。

高札場 村ノ中央ヨリ少シク南ニアリ。

小名

ソリ町

木曾目筋

大段田

宮ノ下

深町

山王社 府川村八幡ノ神主原根津持。

安養院 天台宗仙波中院ノ門徒ナリ。九品山極樂

寺ト号ス。記録ニ寛永八年秀海ト記セシモノアリ。

是歷代ノ内ナリト云ハ其頃ハ已ニ開ケシ

ヲ知ベシ。本尊弥勒ヲ安ス。境内ニ古碑アリ。應永

十九□八月ト彫ル。

多門院 是モ同門徒ナリ。安養院ヨリ兼住ス。幼名

山ト号ス。

宿^{シラ}粒^リ村

宿粒村ハ。河越ヨリ北總ニ八町ヲ隔ツ。江戸ヨリ行
程ハ河越町ニ同ジ。山田庄ニ属ス。村ノ開ケレ年代
ヲ傳ヘズ。想フニ古ヘ宿驛ナド有レ故ニ此名ハ起
リシモ知ルベカラズ。應永十三年越生允衛門カ管
領家ヘ呈セシト覺レキ文書アリ。今市村法恩寺ノ
年譜録ニ見ユ。其文ニ。吾那安藝守光泰申。武藏國河
越庄宿料郷内越生八郎入道跡。同國同郷内武兵衛
入道跡。同國塩谷九郎四郎跡等事。任被仰下之旨。相

觸候之處。各捧請文謹令進覽之候。以此旨可有御披
露候。恐惶謹言。十月十五日。左衛門尉憲忠。宿料八郎
宿粒ナルベシト云。是ニ據レバ應永ノ頃ハ越生氏
ノ領地ニシテ河越庄ト唱ヘシヲ知ベシ。其後永祿
ノ頃ハ北条家人ノ知ル所ニシテ彼家ノ役帳ニ關
兵部丞可八貫文河越卅三郷宿立。元山中孫七郎知
行ト載夕リ。又土人モ昔或ハ扁立トモ書セシ由ヲ
傳ヘリ。假借シテ書シモノナルベシ。村ノ四境東ハ
府川向小久保志岳ノ三村ニ交リ。南モ又向小久保
及ヒ今成村河越町郷分ニ大牙ニ。西ハ上中ノ寺山

村ニテ。北ハ網代村或ハ入間川堤ヲ界ヒテ高畑村
ナリ。東西僅ニ三丁許リ。南北ハ長ク三十五丁ニ餘
レリ。家数四十。水田多ク陸田少シ。用水ハ上下寺山
村ノ境ニテ入間川ヲ堰来リテ水田ニ灌ケバ水旱
共ニ患ナシ。村内ニ二条ノ道アリ。一ハ江戸ヨリ秩
父ヘノ通路ニシテ小久保村ヨリ入下寺山村ニ至
ル。一ハ比企郡松山ヘノ道ニシテ向小久保ヨリ入
網代村ニ出。河越城付ノ村ニテ檢地ハ慶安元年延
宝九年ノ二度時ノ領主ヨリ紀セリ。又村ノ南奥富
村ノ續キニ新田アリ。僅ニ一町五段四畝十四歩ノ

陸田ナリ。延宝三年領主伊豆守信輝檢地セリ。
高札場 村ノ南ニアリ。

小名

喜樂坊

向堂

堂木ニハ

シタリ關

夕コノテ

本村

吉谷戸

鳩ノ免

長島

ク口カヒト

池 村ノ巽ニアリ。僅四百坪許リノ池ナレド。大旱

ニモ涸レズ。旱魃ノ頃ハ當村ハモトヨリ近村迄

モ用水トス。

堤 入間川ノ水除ニシテ下寺山村ヨリ當村ニ續

キ府川村ニ達ス。此堤ノ外ハ高畑村ナリ。

八幡社 村内ノ鎮守ナリ。府川村吉祥院持。

浄國寺 時宗。相摸國藤澤宿清浄光寺末。天王山清

流院ト号ス。開山他阿真教。元應元己未正月廿七

日寂ス。本尊弥陀ヲ安セリ。

天王社 愛宕社

觀音堂 觀音八十一面ナリ。志業村安養院持。

東明寺村

東明寺村ハ。郡ノ西北ニ當リ。城下町ニ添ヒタル地ナリ。里人寺井五ヶ村ト唱フル其一ナリ。江戸ヨリ行程十二里。山田庄ニ屬セリ。此村河越下町東明寺ノ舊地ナル故コノ名ナリ。元禄年中此地ヲ裂テ町郷分トセシ時。東明寺ハ川越下町ヘ屬セシカド村名ハ替ラズ。元ヨリ五村入會ニテ接界殊ニ犬牙ニシレハ細ニハ分チ難シ。其大概東ハ北田島村。南ハ川越町及ビ小久保村ニ接シ。西ハ中寺山村ニテ北

八石田向小久保府川谷中ノ四村ニ境也。東西七八丁。南北十町許。民戸六十ノ内二十餘ハ城下志義町ノ内ニ住セリ。用水ハ赤間川ヲ引用ス。水田多ク陸田少クシテ水損ノ地ナリ。檢地ハ府川村ニ同ジ。此村舊キ事ハ傳ヘズ。北条役帳ニ四十壹貫六百五十文。後藤備前守所領。河越三十三郷東明寺淨樂寺分トアリ。淨樂寺ハ今高麗郡上戸村ニアリ。東明寺ハ則今河越城下町ニ存セリ。領主ハ近郷ト同ジク河越城ノ屬邑ナリ。

高札場 村ノ南下町橋ノ傍ニアリ。

小名

田谷^{タガ} 城下町東明寺ノ後當村ニ屬セシ

所ノ地ヲ云ヘリ。今東明寺ノ山号ヲ田

谷山ト唱フレバ此地名ノ舊キヲモ知

ベシ。

貉關^{イノセキ} 二丁目 深町

赤間川 村ノ南方ヲ通ゼリ。小久保村ヨリ入伊依

沼村ニ沃ケリ。川中三四間。

照善院 天台宗行人派。江戸吳巖島普門院ノ觸下。

長久山ト号ス。此寺地ハ元太田道灌ノ住セシ処

ナリト。今モ其蹟トテ一段許ノ地残レリ。
大日堂 妙義社

小^ヲ久^ク保^ボ村

小久保村ハ。河越城ヨリ西北ノ方赤間川ニ添ニ村
ナリ。江戸ヨリ行程十里。山田庄ニ属セリ。村ノ廣サ
東西二丁。南北一丁ニ過ズ。昔ハ村高六百石余ノ地
ナリニ。元禄元年其内ヲ割テ城下町へ入町郷分
トス。又今ノ向小久保ナト云所モ此村ヨリ分郷セ
シ故今ノ如ク小村トナレリ。四境東南ノ二方ハ城
下町ニ隣リテ東ノ方ハ赤間川ヲ界ヒトス。西ノ方
ハ町郷分及ビ今成上寺山中寺山下寺山ノ數村ニ

續キ。北ノ方ハ宿粒向小久保寺井東明寺ノ四村ニ
交レリ。村ノ中間ニ一條ノ往來アリ。是秋父街道ニ
テ民家百餘共邊ニ連住シ旅客ノ宿ヲナセリ。田畑
等分ニテ田間ノ用水ハ赤間川ヲ引用ス。此村舊キ
丁ハ傳ヘサレド。北条役帳ニ五十貫文河越卅三郷
小窪外檢地辻幻庵殿トアリ。正保年中ノ郷帳ニモ
小窪ト記シタリ。其後延宝元禄ノ頃ハナヘテ小久
保ト見ヘタレバ此頃ヨリ今ノ文字ト書替シタル
ベシ。土人寺井伊佐沼寺井宿寺井松郷ノ三村ヲ通
ジテ寺井三ヶ村ト唱ヘ。又此三村ニ東明寺及ビ當

村ヲ合セテ五ヶ村ト唱フ。元禄二年ニカキニ當所
ノ僧養屋禪師ノ傳ニモ五ヶ村ト云フ事見ヘタレ
バ土俗ノ唱ナガライト近年ニ起リシコトニモア
ルベカラズ。檢地ハ慶安元年松平伊豆守信綱。延宝
元禄ノ二ヶ年野開キ若クハ武藏野開ノ処ヲ檢地
セリ。コレモ河越城付ノ村ナリ。
高札場 村ノ南高澤橋ノ傍ニアリ。

小名

雀宮スズノミヤ 古雀ノ宮トテ社タテリ。故ニコノ
名アリ。何ノ頃カ向小久保村へ移シテ

爰ニハ終ニ除地残レルヲ。河越城下町
廣濟寺ノ持トス。

篠田^{シノダ} 元篠田三郎ト云者住セシ故ノ名

ナリ。サレド其住セシ地ハ今町郷分ニ
属シ。爰ニハ唱ノミ残レリ。

石原町 江戸ヨリ松山秩父へ往来ノ驛
亭アリ。

高澤 袋町

赤間川 南ノ方町郷分ヨリ入。北ノ方東明寺村ニ
通ズ。川中二間許。

神明社 村内修驗良學院持。

稻荷社 村内修驗竜泉寺持。

本應寺 日蓮宗甲斐國身延久遠寺末。長久山ト号

ス。元ハ江戸谷中感應寺末ニテ峠邊ノ觸頭ナリ。

レガ當山七世日容ノ時ヨリ身延ニ属ス。開山日

春寛永三年草創シ。感應寺ノ日長ヲ勸請シテ開

山トス。日春ハ明暦三年八月十三日寂セリ。本尊

三宝ヲ安ス。

生田^{シノダ}稻荷社 生田ト云所以ハ知ラズ。痘瘡神ヲ

一相殿トス。爰ハ元稻荷ノ社地ナリシヲ。寺地ト

セシカバ今モ此稻荷ヲ地主神トセリ。

番神堂 日天子月天子明星天子摩利支天ヲ相殿トス。

辨財天

相殿社

稻荷

樓門 左右ニ仁王ノ像ヲ安シ。樓上ニ鐘ヲ掛。延

宝五年ノ鐘銘ヲ彫レリ。

塔頭

圓乘坊 讀經祖師坐像八寸ナルヲ安ス。是ハ比

企郡松山ノ城主ニ仕ヘシ長澤某ガ持シ像ニ

テ天正十八年松山落城ノ時彼長澤ハ遁レ来

テ河越鴨田村ニ住セリ。其後厨子ノ扉ヲ釘セ

テ打付此寺ニ納メシニ。或時厨子ノ内ニテ讀

經ノ声有ケレバ。圓乘坊偶開キ見テ始テ祖師

ナルヲ知ル。因テ讀經祖師ト号シ。其後ハ人

ノ辨スルヲモ許セリト。

真善坊

東漸坊

西ノ坊

觀音寺 天台宗東叡山ノ末。高澤山妙智院ト号ス。

開山長盛。寛永十八年十二月朔日寂ス。奉尊正觀

音ハ立像ニテ長七寸二分。弘法大師ノ作。左右ニ

百観音ヲ安セリ。

大日堂 大日ハ坐像ニテ長一尺二寸。コレモ弘

法ノ作ナリ。

辨天社

鐘樓 鐘ニ享保七年ノ銘ヲ彫ル。

教宝院 當山修驗京三寶院ノ末。照進山ト号ス。本

尊不動立像。一尺七寸。理現大師ノ作。

向カウ小コ久ク保ボ村

向小久保村ハ。河越城ノ巽ニ當リ。同ジ邊札ノ辻ヨ
リ十一丁余ニテ江戸ヨリハ行程十里。山田庄ナリ。
此村ハ小久保村ヨリ分郷セリ。正保ノ改ノニハ此
名ヲ載セズ。元禄ノ改ノニ始テ載タレバソノ間ニ
起リシヲ知ベシ。村ノ四方東ヨリ南ヘ涉リテハ石
田村及ヒ町郷分寺井三ヶ村東明寺小久保ノ村々
ニ塚ヒ。西ヨリ北ニハ宿粒志岳府川ノ三村ニ境ヘ
リ。東西七町南北三町許。民戸二十八。水田多ク陸田

ハヤク。用水ハ上寺山村ヨリ入間川ノ水ヲ引来テ
田間ニ沃ゲドモ水早ノ患ハナシ。村内ニ一条ノ往
来アリ。河越ヨリ比企郡松山ヘノ街道ニテ松山街
道ト云。此村ヘハ町郷分寺井三ヶ村ノ境ヨリ入宿
粒村ヘ通セリ。當村ニ傳ヘシ水帳ニ。檢地ハ慶安元
年松平伊豆守信細トアリ。其水帳ハ慶安中小久保
村ヨリ未ダ分レザル前ニ書セシヲ。別村ト成シ後
彼水帳ヲ分ツテキリ此村ヘ置シ由。其頃ヨリ河越
城主ノ采地トナリ。今モ松平大和守ガ領分ナリ。
高札場 村ノ西ニアリ。

小名

深町

八幡社 雀宮八幡ト号ス。則當村ノ鎮守ナリ。當社
ハ元小久保村ノ内石原町ノ邊田圃中ニ有シ
ハ己ニ其村ニ出セリ。爰ヘ移セシ年歴詳ナラス。
郡内府川村吉祥院持。

今成村

今成村ハ。河越城ヨリ坤ノ方十二丁ヲ隔ツ。江戸ヨ
リ十二里ノ行程ナリ。相傳フ昔川田備前守今成ト
云人爰ニ来リテ閩壑セシ故ニ其名ヲ以テ村ニ名
ツクト。山田庄ノ内ナリ。家數三十八。東ハ小久保村
町郷分ニ隣リ。南ハ野田小室ノ二村ニ境ヒ。西ハ小
ヶ谷村ニシテ北ハ上寺山宿粒ノ二村ニ接セリ。東
西八丁南北十二丁。水田多ク陸田少シ。用水ニハ天
水ヲ温ヘテ耕ス。水旱共ニ患ナシ。檢地ハ慶安元年

松平伊豆守信綱。養應二年寛文元年ニハ伊豆守輝
網糺セリ。又武藏野新墾ノ地アリ。村ヨリ南ニ當リ
テ一里許ヲ隔テリ。北条役帳ニ二貫四百六十五文
此外九十一貫四百文ハ乙申増河越今成。宇野源十
郎知行スル由ヲ載ス。此乙卯ハ弘治元年ナリ。
御入國ノ後ハ始終河越城附ノ村ナリ。
高札場 村ノ西ニアリ
小名
川田 赤沼 石川
熊野社 村ノ鎮守ナリ。

天神社

氷川社 以上三社トモ村内安樂寺持。

安樂寺 金繩山廣巖院ト号ス。天台宗仙波中院門

徒ナリ。本尊釋迦ヲ安ス。

藥師堂 藥師ハ座像ニシテ長七寸許リ。行基菩

薩ノ作ナリト云。又別ニ一軀アリ。秘佛ナリト

テ二重ノ厨子ニ安シテ扉ヲ開クナリ。土人

云是鎮守熊野社ノ本地佛ナリト。

辨天社 天女ノ左右ニ十五童子及ビ毘沙門天

黑等ノ像ヲ安ス。

今成屋敷跡 村ノ西ニアリ。當村ヲ開墾セシ川田
今成ガ居住セシ所ナリ。此今成ハ備前守ト稱シ
北条新九郎カ子孫ナリト云傳フ。新九郎ハ早雲
ナルカ又氏綱ナルヤ詳ナラズ。今ニ農民喜太夫
ナル者ハ其子孫ナリトテ爰ニ住セリ。尤川田ヲ
氏トシ三ツ鱗ヲ家ノ紋トス。又云川越蓮馨寺ノ
開基大道寺駿河守カ伯母蓮馨尼モ此所ニ寄寓
セシト。是北条ノ縁家ナレバニヤ免角詳ナルヲ
ヲ知ズ。

月吉屋敷跡 村ノ巽ノ方ナリ。今ハ陸田トナリ。其

廣サ二段四畝許リ。回國雜記ヲ閱ルニ河越トイ
ヘル所ニ至リ。寂勝寺トイフ山伏ノ所ニ一兩夜
ヤトリテ 中畧マ夕此里ニ月吉トイヘルモノ
フ侍リ。イサ、カ連哥ナド夕ニナシケルトナレ。
雪ノ祭句ヲ所望シ侍リケレバイヒツカハシケ
ル。

庭ノ雪月ヨシトニル光カナ

是ニ擬レバ月吉ハ文明ノ頃ノ人ナルヲ知ベシ。
日吉屋敷跡 村ノ坤ノ方ニアリ。今陸田トナリ廣
サ一段二三畝ノ地ナリ。日吉ハ當所ヲ開墾セシ

人ナリト云ノミニテ其傳ノ詳ナルヲ知ラズ。
想フニ月吉ト對シテ日吉ト号スル時ハ。共ニ其
人ノ子ニシテ別ニ姓名有シタルベケレド。今日
リ考フヘカラズ。

神田屋敷跡 今ノ名主喜兵衛ノ居屋敷ノ内ニア
リ。右ニ云ル川田月吉日吉ト此神田ヲ加ヘテ都
テ四人當所ヲ開キシ人ナリト云リ。

小室^台村

小室村ハ。河越城ヨリ中西ノ方十八丁ヲ隔ツ。江戸
ヨリ行程十里半。山田庄三芳野里ト号ス。家數四十
五。東ハ野田新田今成ノ二村ニ隣リ。南ハ豊田本村
ニテ。西ハ小ヶ谷村ニ界ヒ。北モ又今成ノ地續ケリ。
東西六丁餘。南北五丁。北条役帳ニ五十六貫百拾貳
文河越三十三郷小室ト記シ。地頭ハ大通寺ト記ス。
御打入ノ後三枝土佐守知行セシヲ。元禄年中河越
城付トナリ。松平美濃守領シケルガ後一旦御料所

トナリ。又松平大和守ニ賜ハリ今モ河越城ニ隸ス。
檢地ハ元禄十四年時ノ領主松平美濃守糺セリ。村
内河越ヨリ飯能ノ町へ通リ往還係レリ。今成村ヨ
リ入テ西ノ方小ヶ谷村へ達ス。
高札場 村ノ南方ニアリ。

小名

亀ノ甲塚 此地ニ藏六ノ形ニ似タル塚
アリ。

諏訪塚 或ハ舞鶴塚トモ云。

花ノ木

赤間川 村ノ北ニアリ。小ヶ谷ヨリ入テ今成村ニ

達ス。川中二間程。

沼 村ノ東ニアリ。廣サ凡ハ畝二十八歩。

氷川社 村ノ鎮守ナリ。

愛宕社

諏訪社

稻荷社ニ字 以上五社共ニ法心寺持。

法心寺 曹洞宗。河越養壽院末。湖月山小室院ト号

ス。寺僧ニ云當寺ハ永正年中起立セリ。其頃ハ天

台宗ナリニカ後廢寺トナリ其後學山ト云僧再

建シテ洞家ノ禪刹トス。時ノ地頭水野多宮聞テ
喜捨シテ中興ノ功ヲ助ク其後多宮ハ天正元年
八月十五日卒ス。法謚シテ小室院月叟法心居士
ト云。學山ハ本山へ轉住シテ天正七年十一月廿
八日寂スト云。按ニ水野家譜ニ水野多宮守重ハ
織部忠守ノ次男ナリ。法名ハ宗三父忠守カ法名
ヲ芳心ト云。御入國ノ後玉繩ノ城ヲ守レリト
アリ。法心芳心音進ケレバ當寺忠守ガ菩提ノ夕
ノ中興セシナルベシ。サレド水野ハ三河御譜代
ノ士ナレバ御入國前當寺ヲ中興スルノ理ナ

シ。想ニ寺傳年代ヲ誤レルナラシ。本尊十一面觀
音ニテ腹篋ノ像ハ温慶ノ作。長六寸許アリト云。
寺寶

彌陀像

一 軀

此像元ハ駿河國有渡郡江尻紫雲山法岸寺ヨ
リ傳來スト云。縁起ノ畧ニ云。此像 上宮太子
ノ御作ニシテ長一尺一寸。胸中ニ生身南無佛
ノ舍利一粒ヲ藏ノニ尊一躰ノ靈佛ナリ。此南
無佛ノ舍利ト申ハ太子二歳ノ御時東方へ
合掌シ玉ヒ。南無佛ト三度唱へ玉へバ御掌中

ニ舍利三粒出現有シテ。一粒ハ大和國法隆寺。
一ハ近江國秋篠寺ニ納メ給ヒ。一ハ此弥勒ノ
胸中ニ収メ給ヒシトナリ。此像禁中ニ在ル
丁六百二十餘年。其後
白河院ノ御宇建久三年御願ニ依テ台嶺赤山
権現ノ宝前ニ安メ。座主相續シテ渴仰スル丁
百七十五年。元弘ノ乱ニ及テ時ノ座主尊雲法
親王勅有テ金華ヲ奉トシ玉フト雖須更モ
此像ヲ離シ給ハス。是ヨリ此像台嶺ヲ離レテ
山野ヲ經歷スル丁年アリ。尊雲後ニ護良ト改

メ給ヒ。征夷大將軍トシテ逆徒ヲ平ゲ玉ヒシ
カ。幾程ナク新田且利ノ間ニ隙ヲ生ジ。又盾弋
ヲ動シケル時。コトノ違ヒニ依テ鎌倉ニ幽セ
ラレ害ニ遇給フニ臨ンテ。此像ヲ御愛妾南ノ
方ニ譲リ給フ。夫ヨリ南ノ方ノ許ニ守護シケ
ルガ其裔孫甲陽ニ聞ヘシ高坂彈正忠昌信ガ
三男ヲ善九ト号シテ賜食ナリシガ。後得度シ
テ信蓮社行誓ト号シ。當國豊島郡麻布長慶山
善教寺ヲ開闢ス。夫ヨリ此像善教寺ニ安置セ
シヲ。第六世鏡誓上人ヨリ其弟子駿河國有渡

郡江尻紫雲山法岸寺十七世赫誓ニ傳來シ。夫
ヨリ當寺へ傳來ス。昭士觀音勢至ハ運慶ノ作
ナリト云。正徳二年壬辰仲秋赫誓震統ガ自筆
ノ一軸ヲ添ヘリ。

辨天社 弁天ハ長五寸許リ。上宮太子ノ彫刻
ナリト云。此社元澤田某ノ建立スル所ナリト
云。

水野屋敷跡 法心寺ノ地續ニシテ南ノ方ナリ。今
ハ陸田トナル。

小ヶ谷村

小ヶ谷村ハ。河越城ヨリ西ノ方二十三丁ヲ隔ツ。江
戸ヨリ行程十里余。土人ノ説ニ古ハ村ヲ芋萱ト書
シト云。山田庄ニ屬ス。家數七十餘。東ハ小室今成ノ
二村ニシテ。南ハ豊田本村ナリ。坤ハ池邊村ニ界ヒ。
西ハ高麗郡的場村ニ隣リ。入間川ヲ界トス。北ハ上
寺山村ニ接ス。東西七丁ニ足ズ。南北十七丁ニ余レ
リ。村ニ河越町ヨリ飯能町へノ往還ノ道アリ。東ノ
方小室村ヨリ入テ入間川ヲ渡リ。高麗郡的場村ニ

達ス。此渡ハ冬ノ間橋ヲ架シテ常ニ徒行ス。水田多ク陸田少シ。用水ニハ入間川ノ水ヲ引込ク。檢地ハ元禄十四年時ノ領主松平美濃守紀ス。御打入ノ後慶長六年松平重三郎ニ賜リ。同十九年追知行セシテ。元和元年ニ至リ。村ノ地ヲ二分シテ。永田庄九衛門。天野源藏ニ賜ハレリ。後元禄十一年替リテ。松平美濃守カ領地トナル。箴程ナク宝永年中ニ得替レテ。秋元但馬守ニ賜リ。其後近村ト同ジク松平大和守カ領分トナリテ今ニ替ラズ。

高札場 村ノ中央ヨリ南ニヨリテアリ。

小名

代官町

黒川町

堂庭

定使町

兵庫寫

入間川 村ノ西ヲ流ル。池邊村ヨリ入テ。上寺山村

ニ達ス。川中百間余。川ニ添テ堤ヲ築ケリ。

稻荷社 村内奉行院持。

白山社 當社ハ元ノ地頭天野彦兵衛カ祀ル所ナ

リト云ノニテ年代ヲ知ラズ。正徳二年十二月

時ノ領主秋元但馬守喬知再建ノ棟札アリ。村内

圓福寺持。

神明社 是七元ノ地頭永田勝九衛門建立ス卜云。

前卜同持。

熊野社 村内最明寺持。

諏訪社 農民持。

圓福寺 寶林山卜号ス。新義真言宗勝呂大智寺末。

閑山秀雄天正二年七月廿二日寂ス。本尊ハ地藏

ナリ。

天神社 經藏

最明寺 天台宗河越北院末。瑤光山卜号ス。閑山ノ

僧及ビ年代詳ナラズ。或ハ云北条相摸寺平時頼

ガ開基ニテソノカニハ禪宗ナリシガ。何ノ頃カ

改宗シテ北院ノ末ニ屬セシト。本尊三尊ノ弥陀

ヲ安ス。鐘一口本堂ノ軒ニ掛ク。

奉鑄造華鐘

願主 權大僧都龍清法印

自性院殿一窓妙月大姉

權大僧都後生院

宇都木半九衛門貞利

于時元禄十一戊寅年如意珠日

當山開基鎌倉執權正五位時頼公

弘長三癸亥年

瑤光山寂明寺真日院

是ニ拠テ七時頼檀越ナリト云テ全クノ附會ニ
モ有ベカラス。

古碑一基文字漫滅シテ讀ベカラス。唯建武二
年八月ノ數字見ユ。

本行院天台宗村内寂明寺末。開山忠海元祿十五
年四月朔日寂ス。本尊弥勒ヲ安ス。

新編武藏風土記卷之一百六十八終

弘治二年

三月

是日

...

...

...

...

...

...

